

ゆるき まさゆき

PJPシート

由留木 正之(ゆるちゃん)

似顔絵・写真



フランクな自己紹介

神戸と大阪に挟まれた尼崎というカオスで、人間多様性がある下町に生まれる。
日本やカナダなどカヌーの川旅の途中、92年に25歳で郡上の自然と川に惚れ込み移住。
3人の娘の父、「稼ぎ」は郡上で自然体験や地域振興のためのツアー企画、運営、アウトドアガイドを28年ほどしている。得意な事は、美味しい食べ物を探して来る事、型にハマらず自然の中で遊ぶ事。近年郡上の自然や暮らしが循環可能で無くなりつつある事に、心を痛め、自分にできる郡上への恩返しを模索中。

自分ヒストリー

昔

- ～小学生 兵庫県尼崎市で生まれ。ヤクザや在日の人が出て、多様な人が肩を寄せ合って生きている街に生まれる。物心ついたときには母親がいなくて、こども心に「聞いてはいけないコト」と思っていた。祖母と一緒に暮らす。野草をとってカツオ節をちゃんと削ってお味噌汁をつくるようなおばあちゃん。
- ～中高生 育ての親の祖母が死去。日常記憶が灰色。初めてバイクを借りて乗り、第一次「魂の解放」に出会う。友やクラスメートをバイクで何人も失う。喧嘩ばかりしていた。
- ～専門学校 デザイン学校に通い出してからすぐバイクに夢中になり中退、バイク屋に就職。朝、夜と、六甲山の峠に通い何度も救急車で運ばれる。やはりバイク仲間を事故で失う。
- ～社会人 バイクのレースで鈴鹿サーキットに通う借金王、井の中の蛙を知る。この頃バイクの旅をはじめ。友人の友人であるアメリカ人の日本観光案内を軽く引き受け、日本人として何もせず、語れず大恥をかき、バイク旅が加速、格闘空手にのめり込む。
- ～22歳 旅先で川を下るカヌーと野田知佑の本に出会い衝撃を受ける。即カヌーを買い、カヌーによる川旅をはじめ、本物の「完全なる魂の解放」に出会う。バイク屋退職。
- ～現在 釧路川、四万十川、吉野川、熊野川、木曾川、カナダユーコン川、そして魅惑の長良川と郡上の人々に出会い移住し、アウトドアツアー会社設立や自然体験事業の設立に携わり、家族とヤギ、ニワトリ等と自給自足の暮らしを営む。

今

プロジェクトについて

個人的背景

30年近く郡上を知ってもらうため子供やファミリーのツアーを行ってきたが、消費される商品としてのツアーに限界を感じ、同時に郡上の自然の中で、都市在住の心と頭が疲れた若者たちが再生してゆくを見て「これだ！」と確信。
18年度、第2期WSにて、4名の仲間と「アナザーホーム・おかえりプロジェクト」を創った。以後事業化を目論んでいる。

課題・ビジネスチャンス

ビジネスチャンス: 都市の第一線で働き、心と頭をすり減らし、本当の自分を見失いそうになっている若者は多い。ニーズとしてあるこれまでの癒しなどではなく、シーズ(潜在しているニーズ)を本質として掘り起こしに成功した。生産者と消費者の関係を超え、再訪者を「おかえり」と言ってやれる現代のコミュニティーを出現させる事で、様々な可能性を秘めている。課題: システムの構築と維持管理。

由留木 正之(ゆるちゃん)

プロジェクト概要

事業内容:地域資源(自然環境、伝統文化、人等)を活用したツーリズム及びコミュニティ作り。特徴:都市部の若者世代にニッチな、されど本質的な消費型とは対極の本物のツアーを提供、疲れた心と頭をその人本来に戻し、お客と事業者の枠を超えた、郡上を大切に想う仲間作りを行う。この事業では、参加者が今までにない有機的な繋がりネットワークを持った組織ができ、ある者は都市に居ながら自分の得意分野を活かし郡上の未来を創る協力者になってゆく者が多数現れる。



3年間の計画と3年後にどうなってほしいか

1年目 ↓	武器の確認と必要な人たちを知る期 やること	武器である郡上の風土文化、人を知る・武器である由留木や協力事業体を知る・我々を必要としている都市部のニーズを知る	事業計画作成 ・商品開発 ・モニターツアー計画、実施	・アルバイトスタッフ確保 ・人材育成 ・コミュニティウェブサイト作成
2年目 ↓	顧客ニーズ別ツアーブラッシュアップと販路拡大期 やること	・資金と顧客を同時に得るためのクラウドファンディング・事業計画修正	・顧客別新規商品開発 ・顧客別新規販路拡張営業	・WEBコミュニティの拡張充実 ・フィールド開発 ・次世代郡上人の掘り起こし
3年目 ↓	経済的テイクオフ期 やること	事業計画修正 ・顧客別新規商品開発	・WEBコミュニティの充実 ・顧客別新規販路拡張営業	・人材育成 ・法人化

3年後の理想状態

経済的には3年目には、2.5~3人が食っていける状態。週末はほぼツアーで埋まっており、リピーターが50%いる。またリピーターから「こんな企画やりたい、手伝いたい!」「こんな層の人たちを都市から呼びたい」と仲間化している。事業は法人化しており、VPとは一緒に喜んだり、ぶつかったりしながら「仲間」として、郡上で根を張りここで生きる覚悟を決めてくれている。

どんな人に来てほしいか? スキル/マインド/実績など

僕の引き出しの隅まで解放し、ガラクタ&宝を整理する。郡上を好きになる根拠のない自信があり、自分が好きになった事には、しぶとい人。僕に無いスキルや情報があると嬉しい、マーケティングや情報管理や僕の管理。感性があり、物事をブラックかそうでないか、仕事かプライベートかで分けない人。

あなたはプロジェクトに応募する人の暮らしにどんなサポートできますか?

暑苦しいくらい、全面的にサポートします! 住居探し、未来探しほか、一緒にやりましょう!